

2024.11.8(金)

(発売日:2024年11月8日)

(10 頁)

非鉄

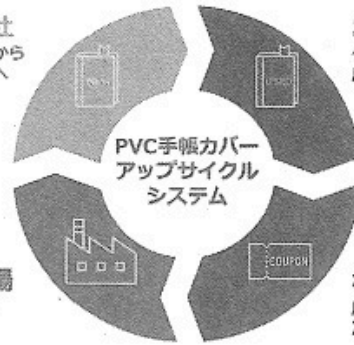
PVC再資源化で連携

石塚と手帳メーカー

プラスチック製品の加工販売、リサイクルを手掛ける石塚(本社 東京都千代田区、熊谷弘司社長)は、手帳の製造販売を手掛ける

マークス(本社 東京都世田谷区)と連携し、11月からポリ塩化ビニル(PVC)製使用済み手帳カバーの再資源化を開始すると発表し

石塚株式会社
リサイクルシートから新しい手帳カバーへアップサイクル



お客様
使い終わった手帳のカバーを店舗に持っていく

リサイクル工場
使用済み手帳カバーをリサイクルシート化

株式会社マークス
店舗にて使用済み手帳カバーを回収し、次回購入時に使えるクーポンをご提供

た。マークスの全国の直営店8店舗で、同社製PVC手帳カバーを回収。リサイクル工場でシート化した後、マークスの手帳カバーなどの商品に資源として再利用する。

マークスでは、2022年版手帳から代表商品である「ストレージィットダイアリー」の手帳カバーの一部にリサイクルPVCを使用。商品の製造過程で生じた端材などのPVCを回収し、原料とし

て再利用している。

これまで全国各地の書店や文具店などで販売していた手帳は、廃棄物として処分されてきた。両社は手帳業界

で課題となっていた使用済み手帳カバーのPVCのリサイクルを通じて、産業廃棄物やCO₂の排出削減に貢献していく。